

吃音とは？

- 言葉をくり返したり、言葉を引き伸ばしたり、言葉がつまったりする状態が続いている状態のことです。
例) 「わ、わ、わたし」・「わーたしね」・「****っわたし」 等
- 言葉を出すための本人なりの工夫や、言葉を出すまでの不安等も含めて吃音とする場合もあります。
例) 腕を軽く振りながら声を出す、足を踏みならしてから声を出す 等



支援について

吃音の状態は一人一人異なるため、必要な支援も異なります。
支援の「例」としては、以下のようなものがあります。

- 声を出すことについての不安を軽減するために
柔らかく声を出す練習・滑らかに声を出し続ける練習 等
- 吃音について知るために
児童向けに書かれた本を読んだり、今現在分かっていることを整理する活動 等
- 自分の言葉の状態について話していくために
他の話と同じように、自分の言葉についても話す機会を保障する 等
- 周囲の環境を整えるために
吃音について伝える・関わり方について伝える 等



Q&A

Q1 なぜ、吃音になるのですか？

A1 1つの要因だけでなく、いくつかの要因が重なっているのだろうと考えられています。現在も世界中で研究が進められています。

Q2 周りの大人はどのように接すればよいですか？

A2 話し方ではなく、その子が伝えたい内容をくみとりながら、やりとりを続け、楽しんだり内容を深めたりしていただくとうよいと思います。

Q3 誰に相談するとよいですか？

A3 言葉の発達や支援に詳しい専門家に相談されるとよいと思います。医師、言語聴覚士、心理士、教師等の職に就いている方々の中にいます。

自分の言葉の状態と向き合いながら、付き合いながら、勉強したり、友達とおしゃべりしたり、大好きなことに、とことん打ち込んだり・・・のびのび過ごして、やってみたいな、と思ったことに、どんどん挑戦してほしいと思っています。



Illustration: こみみさん

ことばの発達支援・学習支援室
DIVERSE
ダイバース

<http://diverse-web.org/>
otoiawase@diverse-web.org
5歳～15歳のお子様を対象です
お気軽にお問い合わせください